

室神山

学校便り
平成31年3月15日号
江津市立江津東小学校長 安食 徹

3学期の行事も卒業式と修了式を残すのみとなりました。22日(金)をもって平成30年度の全教育活動を終えることとなります。これまでの間、本校教育活動に対しまして、温かいご支援とご協力を賜りましたこと、誠にありがとうございました。あとわずかな期間ですが、平成30年度江津東小学校職員一同、有終の美を飾るべく、子どもたちのために一丸となって努力する所存です。どうか最後までご理解ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

県学力調査

12月11日(火)12日(水)に実施された県の学力調査の結果をお返ししました。本校の平均正答率は江津市の平均から下回っている学年もあり、上回っている学年もあるため一概には言えませんが、やはり、基礎・基本の面、応用力の面でいくつか課題が見られました。「書くこと」は近年良くなってきましたが、「読み取り」は苦手な子が出てきたように感じます。今後、「条件に従って、自分の考えを述べる」「言葉を大切にしながら、正確に読む」というような学習内容を多く取り入れていきたいと考えます。これからも新年度に向け、結果の分析を進め、アクションプラン(春の全国学力調査をもとに立てた授業改善計画)への取組を振り返りながら、授業の在り方、家庭学習の在り方、学習に対する構えの改善等について、具体的な取組を進めていきたいと思えます。また、望ましい学び方や学習習慣を身につけるには、生活リズムの安定やメディアの適切な利用など、ご家庭の協力も必要不可欠です。子ども達の学力を伸ばしていけるよう、ご理解ご協力のほど、よろしく願いいたします。

一方、学力育成の基盤は、子どもの安全・安心の確保、自尊感情や学習意欲の醸成であり、それに立脚しなければ、どんなに優れた教育方法や教育技術も功を奏することはないと思えます。たとえ、一時的にそのように見えても、表面的な結果に過ぎず、今求められている『生きる力』にはつながっていかないと私は考えます。今後も職員一丸となって教育活動に取り組んでいきたいと思えます。どうか、ご理解、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

授業公開日 給食試食会

2月19日(火)の授業公開日には、全校が性に関する指導の授業後、学級懇談を行いました。高学年は給食試食会が開かれ、親子で楽しく会食しました。その後、酒井恵美子栄養教諭(桜江小学校)による食育についての保護者向けの講義もありました。心身が急成長する時期です。子どもたち自身も、日頃から食に対する意識を高めて、栄養バランスを考えた食事をし、健全な成長をしてほしいと願っています。



昔遊びの会(1・2年生)

2月20日(火)に地域の方々に来ていただき、昔遊びの会がありました。1・2年生は、おはじき、お手玉、メンコ、あやとり、コマ、羽根つき、けん玉、ゴムとびを楽しみながら、昔の遊びを体験しました。



ゲームなどの遊びが主流になっている昨今、いい思い出、貴重な体験になったと思えます。丁寧に教えていただき、大変ありがとうございました。

鼓笛引継式

2月21日(木)の昼休みに鼓笛隊の引継式が行われました。静粛な空気の中で、6年生から3・4・5年生へと、しっかりと引継が行われました。来年度も伝統ある鼓笛隊の演奏を、しっかりと披露してくれるものと確信しました。引継式終了後、次のような内容を話しました。



素晴らしい引継式でした。伝統ある江津東小学校の鼓笛隊をしっかりと引き継ぐことができたと思います。ただし覚えておいてください。皆さんが引き継いだものは単なる技術ではありません。引継式のために一生懸命に教えてくれた6年生の心も引き継いでいます。

6年生は、きっと本気で教えてくれたと思います。優しく教えてもらい、いい思い出になった人、おめでとうございます。あなたが一生懸命、素直に学ぼうとしたからです。しっかり力がつきました。怒られたりして嫌な思いになった人、おめでとうございます。あなたはまだ諦められていません。何とかしたいと6年生が本気になってくれました。ほとんどいかなかったと思いますが、要注意は、怠けているのに、たいして注意をされなかった人です。諦められ、適当に扱われています。一生懸命教えても、本気にならない人、言い訳ばかりする人、不平不満ばかり言ったり、人のせいにばかりする人、ひどくなると教え方が悪いなどと攻撃してくる人。そんなめんどくさい人は、普通諦められてきます。「さわらぬ神にたたりなし」ということで、心で距離を置かれ、適当にあしらわれてしまいます。そしてそんな自分を好きになれなくなってきました。これが一番怖いことです。前も話しましたが、自分を好きになれない人は人を好きになることはできません。お互いに利用できるかどうかというような関係にしかたないのです。『愛は近きより始まる』という言葉があります。自分を愛せない人は他人も愛せないのです。今からでも全然遅くありません。心当たりのある人は、一生懸命に、本気で人に向かい、前向きな生活ができるように、自分を好きになれるように、自分の心を変えていきましょう。自分だけが自分の責任で自由にできるものだからです。

さて、6年生はこの一年間、本当に立派に江津東小学校を引っ張ってくれました。やるべき時にはしっかりと実力を発揮してくれました。素晴らしい集中力でした。きっと来年は中学生として立派に活躍してくれると思います。5年生以下の皆さん、あなたたちはこんな素晴らしい6年生の後輩です。これからも先輩の残してくれた良き伝統をしっかりと守り、育てていってください。そして、6年生のいろんな表情を覚えておいてください。どれも後輩のために一生懸命になったからこそ、見せてくれた表情です。いい思い出にしてください。

避難訓練

2月27日(水)に今年度3回目の避難訓練を実施しました。今回は昼休みに火災が発生したという想定で行いました。校庭への避難完了に2分47秒(昨年度2分31秒:授業時の訓練)の時間がかかりました。休み時間中の避難訓練は、個々の判断による避難が主になるため、気持ちの切り替えができなかったり、元々散らばっているため通常よりも時間がかかったり、私語が多くなり緊張感が保てなくなったりすることがあります。今回もその例に漏れず、開始当初はそのような傾向が見られましたが、「訓練だよ!」「静かに!」などの子どもたち同士の声の掛け合いもあり、真剣なムードに変わっていきました。やるべきことをきちんとしようとする東っ子の良さを感じました。今後も、児童の安全確保のために、計画的に避難訓練を実施していきたいと思います。

トンネル見学(2~4年生)

2月27日(水)に、波積ダム建設事業仮排水路トンネル工事の現場見学会に行きました。トンネルの壁に自由に絵を描いたり、工



事の説明を受けたりしました。落ち着いた立派な見学態度でした。普段体験することのできない貴重な学習になったと思います。このトンネルは、ダム完成の暁には蓋をされてしまいます。今しかできない経験ができた子どもたちは、とても幸運だったと思います。子どもたちの心にも思い出の一ページとして残ることでしょう。

東っ子を語る会

2月28日(木)に東っ子を語る会があり、初めに授業を見ていただきました。語る会では沢山の率直な意見が出され、大変有意義で建設的な話し合いになったと嬉しく感じました。各行事で子どもたちの成長が感じられること、メディアに対しての懸念、登校等子どもの安全に関すること、ふるさとの環境を良くしていくことの重要性など、様々な意見が出され、大変参考になりました。今すぐにも取り組めること、長期的な視点で取り組むべきこと等、今後分析検討し、来年度の教育活動に生かしていきたいと思ひます。



6年生を送る会

3月5日(月)には6年生を送る会が開催されました。5年生が計画を立て、準備し、運営しました。笑顔の溢れる楽しい時間となりました。感想発表も



沢山手が上がりました。6年生への感謝の思いを表すため、5年生がアイデアを出し、いろいろな工夫をして、会を進めていることがわかりました。今までと違うやり方やゲームがあり、5年生が個性や特色を発揮して取り組んでいることが感じられました。『やるべきときはやる』というこれまで6年生が残してくれた伝統をしっかりと引き継いでくれたと思ひ、嬉しくなりました。6年生にとっても、思い出に残るいい会になったことでしょう。5年生も立派に会を運営することができ、来年度は最高学年になるという自覚を深めたことと思ひます。



くす玉



6年生へのプレゼント



6年生のお礼の合唱

3月11日の校内放送

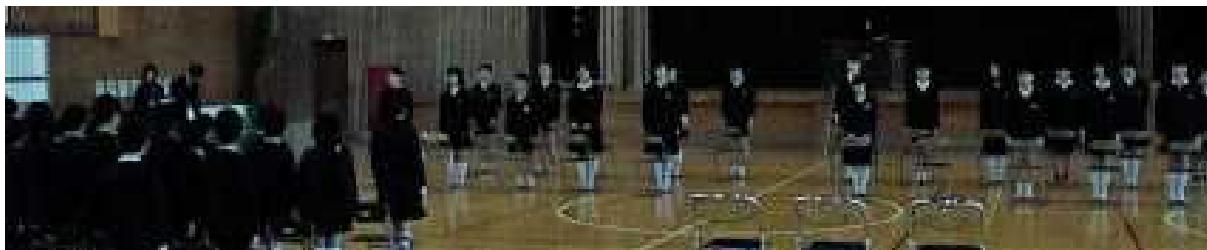
東日本大震災から8年が経過しました。昼の放送で、下のメッセージを広報委員会の児童に読んでもらい、しばし黙祷しました。

今日、3月11日は8年前に東日本大震災があった日です。私は1月の研修会で来ていただいた秋吉さんのボランティア経験の話の中で、「お父さんは帰ってきたけど、まだお母さんが帰ってきていない」とつぶやいた子どものことが心に残っています。初め秋吉さんも話のままの意味で聞いていたら、実は「お父さんの遺体は見つかったけれど、お母さんの遺体はまだ見つからない」ということであると後で聞かされ、ショックを受けたと話されていました。そのような悲しいことがある日突然襲ってきたのです。多くの方が命を落とし、傷つき、悲しみましました。そして未だに復興の途中です。震災のことがよくわかる絵本『おもかげ復元師の震災絵日記』が図書室にありますので、関心のある人は是非読んでみてください。

私も前に、震災直後に高校生が詠んだ『また明日 言葉の重みを 今知った

『明日があるとは 限らないから』という歌を聞き、本当に『生きていること』に感謝し、『今、ここ』を精一杯に生きなければと感じました。命を大切にするとともに、亡くなった方々の冥福を祈り、今頑張っている方々を応援する気持ちで黙祷を捧げます。目を閉じてください。黙祷。

卒業式予行演習



3月13日(水)に卒業式の予行演習がありました。卒業式をよりよいものにしようという適度な緊張感の漂う中、全校児童が一生懸命に取り組みました。予行演習の式辞として、次のような内容を話しました。

～前略～これまで沢山卒業式の練習をしてきましたね。よく頑張りました。もうすぐ本番です。あと少し頑張ってください。卒業式のような行事のことを儀式的行事といいます。その儀式的行事の中でも、最も大きいのが卒業式です。今までの練習を見ていると、本番が楽しみになります。今日は、より良くするため、あと一つ努力してほしいことを付け加えます。なぜ儀式的行事をするのでしょうか。静かで、長い話が続き、退屈だと思っているかもしれませんが、それが大事なのです。自分を静かに見つめる時間、それが儀式的行事なのです。自分がただ座って静かにしていなければならない時間、その時に自分を見つめ、意義を考え、しっかり心を整理してください。時には心に響いてくるメッセージも得られることでしょう。これまで一緒に過ごした日々を思い出して、感謝と尊敬の気持ちを溢れさせてください。もちろん人間同士ですから、いい思い出ばかりではないと思います。しかし嫌な思い出は整理して、感謝に変えていきましょう。たとえ嫌なことであろうと、そこからいろいろなことが学べたのですから…。いつまでも不平不満や愚痴ばかり思い浮かべて、それでいっぱいになっている自分は幸せですか。そんな人と友達になりたいですか。不平不満を手放さない人は、一滴の毒からバケツいっぱい毒を作り出し、自分で飲んでいるようなものです。心の成長を止めてしまう最悪の方法です。どうか**寛容**の精神を持って、卒業式までに心を整理し、**感謝**と**尊敬**で心を満たしてください。そうすれば、心の準備も完了です。感謝と尊敬で自分や周りを幸せにして、いい卒業式、いい別れにしてください。

さて、在校生のみなさん。ステージで卒業証書を受け取った後、6年生がみんなの方を向きますね。卒業式では、ちゃんと顔を見てください。小学校を卒業したという顔をしています。小学校までは児童です。それを卒業したので、今度は、中学校への準備です。もう中学校の生徒の顔に近づいています。

小学校までは児童、要するに子どもですから、困った時、どんどん人に頼っていいのです。人のせいにしたたり、わがままを言ったり、誰かから機嫌をとってもらったりしても仕方ありません。なぜなら、児童、まだ子どもですから。でも、中学校からは、大人への階段を登り始める生徒になります。自分で考え、自分で決め、自分で実行し、自分で責任を取るという人生の主人公の道を歩み出します。「人生の被害者にはならないぞ」「自分の人生は自分の責任として引き受けるぞ」というその凛々しい顔を是非見てください。みんなも卒業する時、そうなるのですから…。本番はもう少し長いです。どうか集中力を切らさないように頑張ってください。